

## 第2クォーターの時間割づくりの留意点

### (1) スケジュールの確認

履修登録期間 6/8 (月) 7:00~6/14 (日) 23:59

抽選結果公開 6/17 (水) 9:00~

☞【重要】抽選結果・登録内容を確認すること！

履修登録補正期間 6/17 (水) 12:30~6/25 (木) 23:59

(参考)

Q1の定期試験期間 6/12 (金) ~6/18 (木) Q2の授業開始 6/19 (金)

### (2) 登録する科目=Q2に新規に開講される科目

専門科目「法学概論」「政治学A」「政治学B」(→後述(5)を参照)

Q2から新たに始まるGS科目等(→後述(4)を参照)

セット開講でない初習言語科目(露・朝・ギリシア・ラテン)

(以下のものは登録不要)

Q1で終了する科目: 導入科目「大学・社会生活論」、多くのGS科目

前期通しの開講科目: ごく一部のGS科目2F・3F

自動的に登録済みの科目(登録内容が正しいか確認すること)

導入科目「地域概論」、GS言語科目

セット開講の初習言語科目(独・仏・中・西)

### (3) 履修登録単位数の上限数とGS科目等以外で履修することになる科目の単位数との差を確認し、GS科目等をいくつ履修できるかを把握する。

(典型的な履修パターンのシミュレーション)

地域概論 1単位+GS言語科目 1単位 → 2単位

初習言語科目 → 2単位(ギリシア語・ラテン語の選択者は1単位)

専門科目(政治学A・B、法学概論)(1単位×2+2単位) → 4単位

合計 8単位(履修登録単位数の上限は12単位) **Q2は、GS科目等をあと4単位分履修可!**

\*前期通しの開講科目を履修登録している場合、按分計算に注意。

例)前期通しのGS科目2F・3F(1単位)を履修登録している場合、履修登録単位数を計算する場合に限り、Q1とQ2で0.5単位ずつに按分する。

#### (4) 登録するGS科目等を検討する際の留意点

- ① 『法学類ハンドブック』5頁及び10頁の表を活用する。
- ② Web シラバスを参照する。
- ③ 履修条件の「帳尻合わせ」(各群の履修条件を見ながら、効率的に充足する作戦)を考え始める。
- ④ Q1に履修登録したのと同じGS科目は登録できない。  
(例外) 2Fと3F: サブタイトルが違えば登録可。  
1Fと3Dに含まれる2科目: 科目名が違えば登録可。
- ⑤ 保健体育関連科目(2F・3F)を履修する場合の留意点
  - (1) 『共通教育科目履修案内』29頁(4)のルールを確認する。
  - (2) サブタイトルの違う2F・3Fは、それぞれ2単位まで履修可。ただし、GS科目の卒業要件にカウントできるのは1単位だけ。余りは、「自由履修科目」の単位に充当される。
  - (3) 前期通しで開講される2F・3Fを履修している場合、同じ時間帯に新規に開講される別の授業は登録できない。
- ⑥ 1F「物理の世界」「化学の世界」、3D「論理学から見る世界」「数学的発想法」の関係
  - (1) 科目名が違うので両方履修可。
  - (2) Q1に一方を履修している場合、もう片方をQ2に履修することも可。ただし、GS科目の卒業要件にカウントできるのは1単位だけ。余りは、「自由履修科目」の単位に充当される。
- ⑦ 授業時間割表で、「自由履修科目」に区分されている科目は、法学類細則別表第1の「自由履修科目」の単位に充当される。  
(注意)「英語セミナー」は、GS言語科目の代わりにはならない(『共通教育科目履修案内』40頁参照)。

#### (5) 時間割情報の入手方法

共通教育科目: 国際基幹教育院 Web の Web 時間割表を閲覧(変更等随時更新あり)。

専門教育科目: 法学類 Web から PDF ファイルを閲覧

**履修登録のシステムの各曜日・時限に表示される授業科目を見るだけで履修する科目を選択した結果、特に専門教育科目において、「他学類生用の時間割番号で登録をしていた」、「必要な授業科目の登録を失念した」等のミスをする事例が増えています。**

**留年等の致命的な結果を招く危険があるので、履修登録のシステムで登録をする前に、専門教育科目の授業時間割表を毎クォーター必ず確認するクセをつけてください。**

\* 法学類学生相談室がQ2についても、GS科目の科目別開講時間帯早見表を作成する予定です。

## (6) 履修登録・抽選結果確認・履修登録補正の際の留意点

- ① システムの基本的な操作は、Q1 と同じです。わからないときは、『学生便覧』13 頁以下を参照してください。
- ② 同じ曜日・時限の複数の授業科目を同時に履修することはできないので、複数の時間帯（最低でも 4 か所）にわたって、複数の授業科目を登録してください。
- ③ 抽選結果を確認したら、履修時間割表をダウンロードして保管してください。記載のない授業科目の単位は認定されません！
- ④ 必要に応じて履修登録の補正をしてください（GS 科目の履修条件をクリアーするための作戦の微調整）。

例 1) 抽選の結果、当選した GS 科目がやけに少ない ☞ 履修可能な時間帯の、空きのある科目の追加登録を検討する。

例 2) 抽選の結果、特定の群の GS 科目に当選しすぎた ☞ 「自由履修科目」の単位に充当することにしてそのまま履修する？ それとも、別の科目群の充足を優先し、空きのある他の科目に乗換える？

- ⑤ Q1・Q2 に履修した授業科目の GPA（☞ 『法学類ハンドブック』33 頁参照）が、2.5 以上の場合、Q3 以降、履修登録単位数の上限（=1 クォーター12 単位まで）が解除されます（☞ 『法学類ハンドブック』35 頁）。履修の自由度が高まるので、できるだけ良い成績で単位を修得するよう努力してください。

## (7) その他

- ① 「大学・社会生活論」（必修科目です）の e-Learning をまだ「受講」していない人は、必ず期限までに受講してください！
- ② Q1/Q2 に開講する予定であった、初学者ゼミ I・II は、Q3/Q4 に延期となりました。クラス分け、開講時間帯等は、後日連絡します。
- ③ 分からないこと等は、自分一人で判断せず、法学類教務係に問い合わせてください。